

健康だより



はらた脳神経外科
No.44 Jan. 2010

ご挨拶

院長 原田 範夫



皆様、明けましておめでとうございませう。きつと爽やかな新年をお迎えのことと存じます。

昨年は民主党に政権が変わり、医療行政もどのような方向に変わるのかまだ判りかねる所があり、目を離せない気持ちです。いずれにしても、医療と教育は国民生活の根幹に関わる問題ですので、経済優先のこれまでの方針はこの際、是非とも百八十度転換して欲しいものです。

新型インフルエンザが昨年後半から猛威を振るい、幼児に犠牲者も出ており、この冬は更に感染が拡大しつつありますので十分な注意が必要です。しかし、ワクチンの製造が間に合わないため、一般の人にはワクチン注射が未だ充分に行き渡らない状況で、不安で居られる方も多いでしょう。ただワクチンだけが唯一の予防方法ではありません。毎日出来るだけ頻回にうがいや手洗いをし、人出の多い所に出る時には必ずマスクをつけることが予防の第一です。また免疫力を強めるためには十分な体力（食事・睡眠など）と気力を持って明るい気持ちで過ごすことも大事です。また加湿器などで部屋の乾燥を防ぎましょう。

腰痛のある人で腰椎分離症と診断されている方もあると思います。分離症は知らぬ間に椎弓に亀裂の入った状態ですが、外傷とは関係なく起こります。若い運動選手などでも見られますが、手術をしないでモリハビリなどにより自然に治まる人もあります。

手術には根治手術と対症的手術がありますのでお尋ねください。

「人生万歳

痛みと痺れから解放して頂き

ありがとうございますございました」

平成21年7月17日

腰部脊柱管狭窄症で手術

宮城県利府町 元公務員

高橋 茂さん 73歳

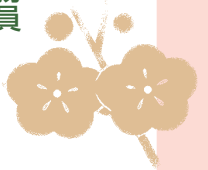
平成7年頃、「腰」と右「太もも」から「ふくらはぎ」までの強い痛みで、歩いたり座ったりすることが辛かったが、仕事が忙しく、「専門医」の診断を受ける暇がなかったため、最寄りの「接骨院」で治療を受けて参りました。

ところが、平成10年頃からは、「右足の力」が緩慢になり自動車のアクセル、ペダルも踏み込めなくなり、歩くのも10メートルがやっとという状態が続き、これが原因してか、お尻の筋肉が削げ寝床に尾てい骨が触れ痛くて寝るのも困難となり、日々の生活に支障が出て参りました。しかし、相変わらず仕事が忙しく最寄りの「整形外科」と「接骨院」で痛みを抑えるための治療を続けて参りました。

しかし平成21年6月頃から、「腰」と左「太もも」から「爪先」まで痛みと痺れがひどくなり、歩くことも困難となりました。今度は忙しい仕事からも解放されていたので、「複数の専門医」の居る「大病院」で診察を受けました。その結果「腰部脊柱管に一部狭窄箇所がある」と「椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛」によるものと診断されたので、「手術」による治療をお願いしたところ、「手術」には危険が伴うので、我慢出来るうちは、「痛み」と「痺れ」を抑えるため「投薬」を行うとの診断を受け、治療を受けて参りました。

そんな時、「はらた脳神経外科」で「頸椎の手術」を受け入院していた友人から、「腰や頸椎の顕微鏡手術」をなさる「名医」が盛岡にいらっしやるので、一日も早く診察を受けるように勧められ、5日後に「病院」を訪問。その折、「手術待ち」の患者さんが大勢いらっしやるのを知り、早速3日後に外来での受診を予約いたしました。

平成21年4月20日初診を受け、同30日に入院検査を受けました。結果について「原田先生」から「腰椎の3、4、をはじめ5番の脊柱管を中心に複数箇所狭窄している」ため「投薬」や腰部の牽引などのリハビリでは、治療の効果が期待できないので、「手術」が必要と診断され、重ねて同種の手術を1000人以上行っているが、失敗したことは一度もないので安心して下さいとお話をいただきました。懇切丁寧なご説明に感謝



旅行先の小田原の蘇我の梅園にて

し、「妻」共々「手術」による治療をお願いし7月15日に入院、同17日「手術」を行っていただきました。「手術」後麻酔から覚めると、術前に言われていた、足の裏に痺れが残った他は腰から太もも、ふくらはぎにかけての痛みと痺れは、無くなっており驚きました。

現在、右足に今まで治療を怠ったためのものと思われる後遺症が残っておりスムーズには歩けません。毎日1時間目安の散歩の他、趣味の野菜作りを楽しんでおり、此のまま回復すれば、近々「スイスやカナダの山巡りの旅」も夢ではないと、楽しみにしております。これも偏に「原田先生」を始め、「看護師さん」、「レントゲン技師さん」、その他病院スタッフの皆さんのお陰と心から感謝いたしております。「本当に有難うございました」。

最後になりましたが、給食も食材が多く、器も色とりどり、料理の数も豊富で、毎食楽しみながらいただきました。「給食担当」の皆さん、「心から感謝」いたします。

イギリスの嵐が丘にて



腰部脊柱管狭窄症で 平成20年3月に当院で手術

桑畑 春雄さん 71歳 遠野市

①手術前の様子をお聞きしました。

痛みは平成19年の7月頃から始まり、腰を曲げなければ歩行も出来ませんでした。その時に、ある公立病院に通い平成20年の4月まで通院致しました。レントゲン・CT・MRI検査を致しましたが痛みを取る注射は1回もなく、ただ飲み薬を一度に数か月分渡されました。そんな時に近所のKさんにはらた脳神経外科を勧められました。痛みで歩行も出来なかったKさんもはらた脳神経外科で手術をして、今では元気に働いております。

②手術後の様子をお聞きしました。

手術前の痛みが全く嘘のようです。ただ、腰の部分が何となく重苦しいようなモヤモヤ感がありますが、痛みではないので気にしておりません。入院前に、顕微鏡での手術方法と聞いて驚きましたが、実際身をもって体験すると、手術の翌日には全く痛みがなくなっていることにさらに驚きました。

入院中は、早朝の掃除のおばさんや看護師の皆さんが気遣いなくお話し、色々相談も出来、何も心配することがありませんでした。

ありがとうございます。



腰部脊柱管狭窄症で 平成20年4月に当院で手術

伊藤 キミさん 67歳 八幡平市

①手術前の様子をお聞きしました。

10年以上前から腰が痛くなり、3年前から右足が痛み出しました。平成20年頃には、両足やふくらはぎも痛むようになりました。痛みのために30分以上は歩けないし、立ち仕事も10分で立っていただけなくなりました。温泉を歩いて治せたらと思いましたが、温泉を歩きましたが、痛みはだんだんひどくなりました。平成21年3月頃には歩けなくなり、家の中はお尻で歩いていました。

②手術後の様子をお聞きしました。

はらた脳神経外科で腰の手術をして良くなったOさんに勧められて受診しました。手術は怖いので出来るだけ手術をしないで治せたらいいなと思っていました。が、やはり手術が必要と言ったことで、手術まで不安でいっぱいでした。

③手術後の様子をお聞きしました。

思い切って手術を受けて今は本当によかったと思います。あんなにつらかった両足も今は全然痛くありません。手術後のリハビリも楽しくさせていただき、散歩の許可が出た時はとっても嬉しかったです。

院長先生はじめスタッフの皆様、本当にありがとうございます。腰や足の痛みで困っている人がいたら、はらた脳神経外科のことを教えてあげようと思っています。



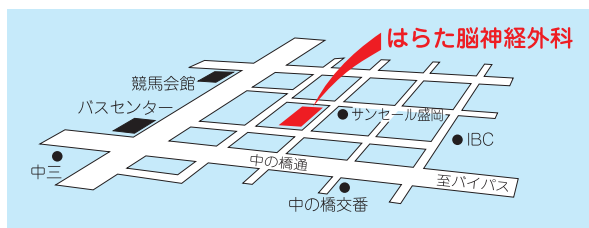
- 院長 原田 範夫
- 非常勤医師 小野 芳橘 原田 達男
- 診療科目 脳神経外科・整形外科・神経科・精神科
リハビリテーション科 (理学診療科)
- 診療時間 月、火、水、金 午前9時～午後6時
木、土 午前9時～午後1時
- 休診日 日曜・祝祭日

はらた脳神経外科

〒020-0884 盛岡市神明町10-28

TEL.019(624)3110(代)

メール: harata_neurosurgery@yahoo.co.jp
ホームページ: http://sv1.harata-n-s.sagasi.jp



- ◎ニュー鶯山荘リハビリパック始めました。
一泊二食付。ニュー鶯山荘から
はらた脳神経外科リハビリセンターまで送迎。
理学療法士の治療を受けて、六泊七日で30,000円。
- ◎ニュー鶯山荘ツアー、好評開催中。
はらた脳神経外科からニュー鶯山荘まで
医師・看護師付き添いで送迎。
毎週金曜日行ってます。日帰り昼食付で3500円。